

World Teachers' Day(世界、先生の日)に考える

- 尊敬する先生からのお教を大切にしよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

昨日10月5日は、何の日か皆さんご存知ですか。国際連合の中に、ユネスコという機関があります。ユネスコは、国際連合教育科学文化機関の略です。10月5日は、このユネスコが定めた「世界の先生の日(英語では World Teachers' Day)」です。そこで今日は、先生についてお話しさせていただきます。

2. World Teachers' Dayに考える

(1)もちろん保護者の皆様は家庭教育を担っていますが、教育の一番大きな担い手の一人は学校の先生です。ですから、よい先生をどのように確保したらよいか、どのような待遇を考えたらよいか、教え方をどのように確立していけばよいかなどを考える日が、World Teachers' Day なのです。開倫ユネスコ協会では、皆さんに協力していただき、「私の尊敬する先生」というテーマでエッセイを募集しました。それを集計しているところですが、放送をお聴きの皆様も尊敬する先生を思い起こしていただき、皆様のお子さんやお孫さんにその先生のことを話していただければと思います。

(2)私の尊敬する先生の一人は、椎名弘先生です。椎名先生には、足利市立山辺中学校在学中に柔道を教わりました。先週の土曜日に椎名先生が講道館柔道の7段に昇段されたということで、その祝賀会が足利市民会館の小ホールで催されました。皆でお祝いをさせていただいたのですが、私も小さなスピーチを頼まれましたので、椎名先生がどれほどすばらしかったのか、なぜ尊敬できるのか、何を教わったのかなどについてお話しさせていただきました。

(3)私は、椎名先生から3つのことを教わりました。

1つは、「練習で泣いて試合で笑え」ということです。椎名先生は非常に厳しい方でしたが、部活動で一所懸命練習していれば、試合では必ずよい成果が出せると常に言い続けていました。そのお陰で、当時の山辺中学校のチームは、2年生のときは新人戦と3年生のときは7月の県大会に共に優勝することができました。そのチームの一員に私も入ることができたことを、今でもありがたく思っています。

2つめは、「自他共栄」、つまり、自分も他人も共に栄えようという教えです。これは、講道館の教えなのかも知れませんが、自分の利益だけを考えるのではなく、皆のことも考えて共に栄えようというのが柔道の精神であると教わりました。これも大切な教えであると思っています。

3つめは、柔道といえども、団体で行うことなので、「仲間を作って励まし合ってやることが大事である」という教えです。

* 椎名先生から、これら3つのことを教わって、私は今日までできました。練習で泣いて試合で笑おう、つまり、準備が大事であること。自分のことだけでなく、他の人のことも考えながら、一所懸命やって、共に栄えることが大事であること。励まし合う仲間を作って、皆で頑張ることが大事であること。これらを人生の糧として、今日まで過ごしてきたのです。

(4)ところで、放送をお聴きの皆様はいかがでしょう。学校の先生、習い事の先生、少年野球などの監督・コーチ、茶道や華道の先生、お医者さん、弁護士の先生など世の中にはたくさんの先生がいらっしゃいます。保護司や刑務官の皆様も保護観察中の方や受刑者の方々は先生と呼び、教育的な指導を受けています。いろいろなところで尊敬に値するよい先生に出会っているのではないのでしょうか。ユネスコで大いに広めている、昨日の World Teachers' Day に因(ちな)み、先生方に教わったよい教えを思い起こし、自分の人生や生活の糧にしていきたいと思います。

(5)また、学校の先生はじめ人前で教える立場にある人は、何か伝えたいことがあったら、椎名先生のようにことあるごとに、「このことは大事なんだよ」ということを、積極的に子どもたちに伝えていただきたいと思います。

例えば、柔道を習いながらであれば、柔道そのものの他にも有難いことばを先生から教わることができれば素晴らしいことです。卒業などによっていつかはその先生から離れていくのですが、心は繋がっていて、いつまでも恩師として支えにします。また、先生の方も、いつまでも心の繋がったかわいい教え子として心に留めていますので、素晴らしい関係になります。

3. おわりに

今日は、10月5日の World Teachers' Day (世界先生の日) に因み、よい先生とは、尊敬する先生とはどのような先生か考えてお子さんやお孫さんに話していただきたいと思い、そのお話をさせていただきました。

- 2008年8月12日加筆 -